

**製品名: CKR-4 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab08869**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	41kDa

## 抗原情報

遺伝子名	CCR4
別名	CCR4; CMKBR4; C-C chemokine receptor type 4; C-C CKR-4; CC-CKR-4; CCR-4; CCR4; K5-5; CD194
遺伝子 ID	1233.0
SwissProt ID	P51679
免疫原	抗血清は、ヒト CCR4 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

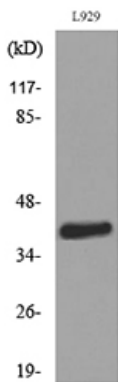
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Gタンパク質共役受容体ファミリーに属し、CCケモカイン（MIP-1、RANTES、TARC、MCP-1）の受容体です。ケモカインは、さまざまな種類の白血球の細胞輸送を制御する、構造的に関連した分子の小さなポリペプチドのグループです。ケモカインはまた、免疫系の発達、恒常性、機能において基本的な役割を果たし、血管新生や血管静止に関与する内皮細胞だけでなく、中枢神経系の細胞にも影響を及ぼします。[RefSeq提供、2008年7月]、機能：C-C型ケモカインCCL17/TARCおよびCCL22/MDCの高親和性受容体。この受容体の活性は、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化するG(i)タンパク質によって媒介されます。循環記憶リンパ球上の走化性因子ホーミング受容体として、また一部の一次HIV-2分離株の共受容体として機能し得る。中枢神経系では、海馬ニューロンの生存を媒介する可能性がある。、オンライン情報：CCケモカイン受容体エントリ、PTM：ナチュラルキラー細胞において、CCL22の結合は、おそらくβアドレナリン受容体キナーゼ1および2によって、未だ定義されていないSer/Thr残基のリン酸化を誘導する。、類似性：Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。、組織特異性：主に胸腺、末梢血白血球（T細胞（主にCD4陽性細胞）、好塩基球を含む）、および血小板に発現し、脾臓および単球にも低レベルで発現する。マクロファージ、IL-2活性化ナチュラルキラー細胞、皮膚ホーミングメモリーT細胞（主に皮膚リンパ球抗原（CLA）を発現する細胞）にも検出されます。脳微小血管および冠動脈内皮細胞にも発現しています。

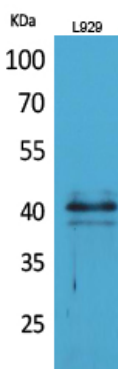
## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;

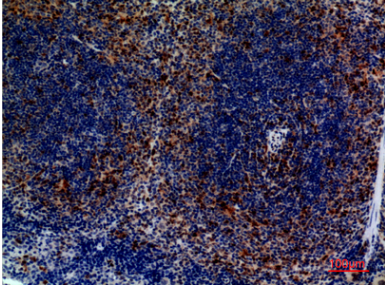
## 画像データ



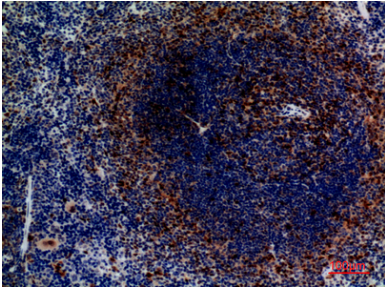
CCR4抗体を使用したL929細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



CKR-4ポリクローナル抗体を用いたL929細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。



パラフィン包埋マウス脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された